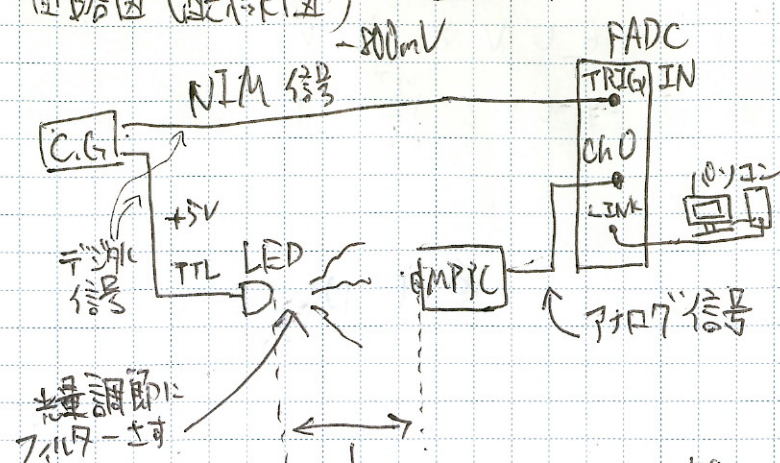


16年8月9日 回路図(配線図)

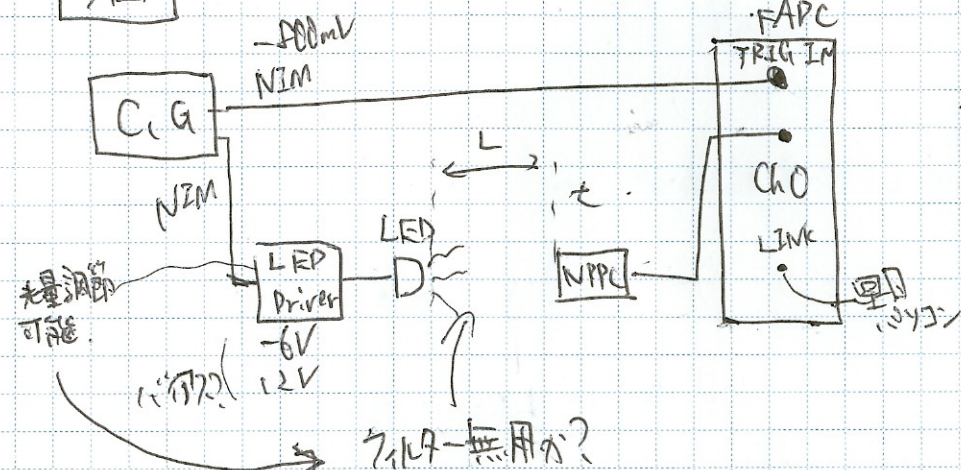
従来



★ 線の長さに応じて、
信号の遅れが変化するため、
線の長さは実験中
変えないように!

光がこの距離を進む時間 t L と t の相関を見る、

今回



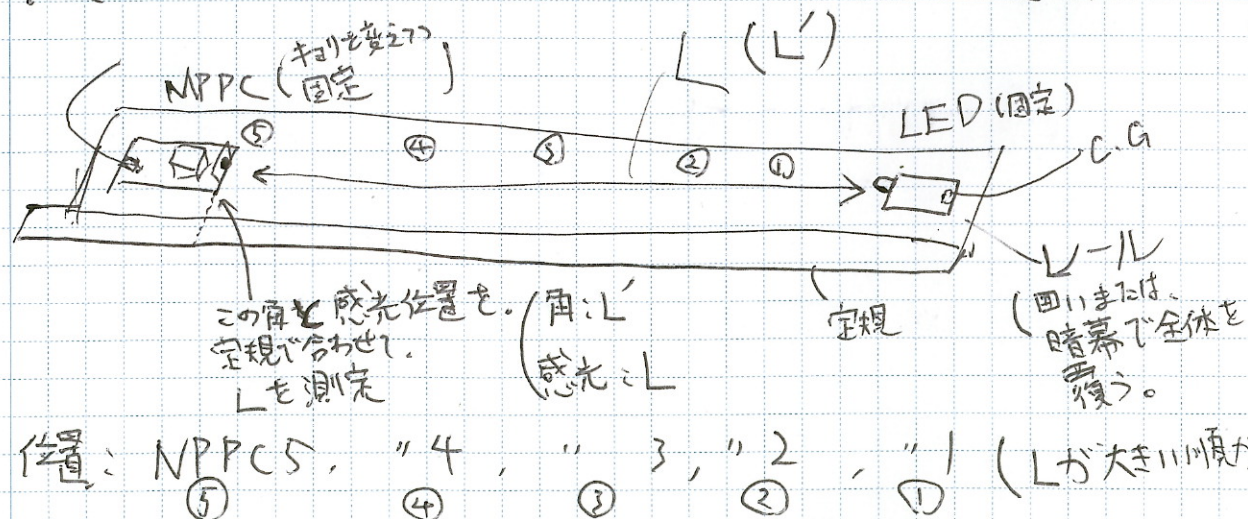
★ 線の長さは
変えない!

フィルタ-無用か?

まずは前回実験で L 最小、最大で、測定可能か見てみる。
(約20cm) (約1m)

実験図

配線は上図



この角と感光位置を、(角: L'
定規で合わせ、
 L を測定

(感光: L)

定規

レール
(回しまたは、
暗幕で全体を
覆う。

位置: MPPC 5, "4, "3, "2, "1 (L が大きい順から)

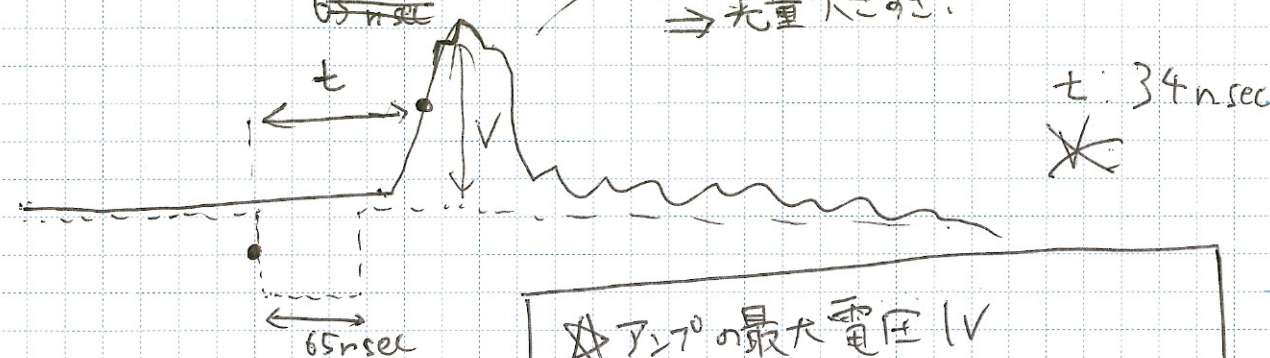
16年8月9日・1回目

(MPPC 5)

差 $L_s = 994.5$ (mm) ($L = 994.4, 994.5, 994.6$ (mm))
5.5 $L'_s = 1000.0$ (mm) ($L' = 1000.0, 1000.0, 1000.0$ (mm))

NIM信号: ~~4.5 kHz~~ 5 kHz
65 nsec

サチッる (saturation)
⇒ 光量大きすぎ。

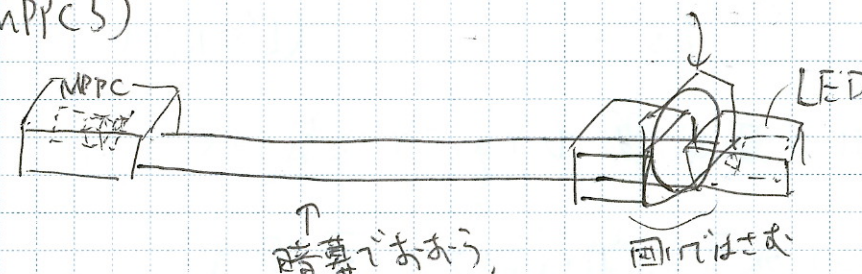


★ アンプの最大電圧 1V

∴ $V \geq 1V \Rightarrow$ サチッる
⇒ 光量大きすぎ

・2回目 L_s, L'_s 同上
(MPPC 5)

フィルタ-1枚 (倍率 Max) $\frac{1}{400} \Rightarrow$ 光量
小さすぎ



NIM信号:

・3回目 L_s, L'_s, NIM 信号 同上 フィルタ-1枚 (倍率 Max) $\frac{1}{700}$ 光量
おおよそ

